

平成30年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告②

実施日：平成30年11月3日（土）

平成30年度ウィークエンド青少年セミナー第2回を、宇都宮大学陽東キャンパスにて行いました。今回は、総合教育センターで12月15日（土）に開催される開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える」の中で行われる「だがしや学校」のブースを企画することを中心に講座を実施しました。



体験講座「よい研修はよい雰囲気づくりから」

実際にまちづくりやボランティア活動に取り組むにあたっては、同じ志を有する仲間と共に活動していくこととなります。活動を共にして成果を生み出していくために、グループからチームへと変化する必要性について理解し、チームづくりのポイントを学ぶとともに、イベントやワークショップにも活用できるアイスブレイクについて考え、実践し、受講者同士の交流や「だがしや学校」のブースと一緒に企画することになる班のメンバーとの交流を図りました。



演習「自分たちも何かやってみよう！企画・立案編」～だがしや楽校の運営をめざして～

「面白そう！」「こんなアイデアもいいかな！」などと、あまり考えずに立案してしまうと、「イベントは盛り上がった！でも、目的は達成されていない…」となり、失敗に終わってしまいます。そこで、セミナー受講者は、まず、イベントや活動の企画や立案を進めていく上で大切にしてほしいポイントや、メンバーの誰もが創造的なアイデアを考えたり、育てたりすることができ、現実的な取組につなげる手法について学んだ後、実際に活動班に分かれて、「だがしや学校」のブースの企画・立案に取り組みました。



受講生の声

- 思いつくアイデアをどんどん挙げて、そこから実現可能性や目的からそれていないかを捉え直す手法を学べた。少しでもできそうなものがあれば残して、そのエッセンスが使えないか検討する思考が大切だと感じた。
- なかなか新しいアイデアが出なくても、チームの他の人から出た案を拵げていくことができることが分かり、発想が広がった。
- グループの雰囲気や活動（話し合い）の進み方に大きく関わることを実感した。子どもたちの目線（気持ち）になって何が楽しいかを考えるだけでなく、何に気をつけるべきかを考えなければならないところが運営側として大切なことだと分かった。
- 大学生と一緒にグループでの活動ということで緊張していたが、優しく接してくれて積極的に活動できた。活動についての説明も丁寧で、楽しく深い学びを得られるセミナーにすることができている。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！

TEL:028-665-7206

E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp